

2025年 日本国際博覧会
シグネチャープロジェクト

いのちめぐる冒険
LIVE EARTH JOURNEY

～いのちを育む～
—宇宙・海洋・大地—

《実施計画書》

河森正治

2023.2.28 : 初稿
2023.3.21 : 修正稿
2023.5.8 : 更新



いのちめぐる冒険

LIVE EARTH JOURNEY

この星に宿る
あらゆるいのちは
それ自体が美しく輝き
つながりあっている

本パビリオンでは
最新のテクノロジーを用いて
いのちのダイナミズムを
フィジカルに体験できる
展示を計画していきます。

2023.3.20.

2023.3.20.

いのちの礎

ランダムに積み上げられた構造体が多く隙間や空間の連なりを生み出すことで、多様ないのちを育む礎のように、ダイナミックに生命を刺激し、感性をひらく建築が立ち上がります。

多彩な“セル”型

“セル”は鉄骨フレームと特殊なコンクリートパネルからなる2.4m立方のシンプルな構造体を最小単位としながら、進化し大きくなるにつれて機能を増やし、展示の次元を上げていきます。

- ・ 2.4m立方型セル — 実物 | 映像展示
- ・ 4.8m立方型セル — 大映像+音響展示
- ・ 9.6m立方型セル — 大映像+音響 + 透過映像展示
- ・ 12m径シリンダー型セル — XRシアター展示

多様な“細胞”が作る一連の体験

大小様々で多彩な展示群は、それぞれが建築構造と一体となった“セル(Cell:細胞)”という空間を形成しています。多彩な“セル”が一つの“いのち”として構成されることで、多様かつ一連の体験で来訪者を迎えます。



展開コンセプト | 建設マテリアル

“海”で広がる低環境負荷建築システムの開発

貴重な真水資源の保全 海水コンクリートパネル

建築かつ展示の空間単位であるセルは、真水を使用した一般的なコンクリートではなく、海水を使用したコンクリートパネルによって構成されています。緊張材として、鋼線の代わりに炭素繊維ケーブルを使用することで真水ではなく大阪湾の海水を配合することが可能になり、長寿命化等の多くの革新性をもたらしています。

海運モジュールによって高効率化 鉄骨構造フレーム

セルの構造には、海運の基本モジュールであるコンテナの生産・流通システムを応用して作られたプレファブリケーションの鉄骨構造ユニットが使用されています。既存の海運モジュールに則つとすることで、効率的な生産と輸送コスト削減を叶えることができます。

いのちの循環 リユース・リパーパス

長寿命化されたコンクリートパネルと、海上輸送コストを抑えられる鉄骨構造ユニットは、会期終了後のリユース、リパーパスの可能性を広げることができ、我々はそれを（いのちの循環）と見立てて計画しています。

海水コンクリートパネル（HPC）の革新性

- 全世界的な課題である真水消費を海水に置き換えるアイデアのパブリックスペースでの実証
- 海水配合で得られた圧縮強度向上に伴う使用セメント量の削減
- 塩害やアルカリ骨材反応に対して強い耐性を持ち途上国の沿岸の都市整備に貢献できる可能性
- 移設及びリユースにも耐える長寿命建材化



© 2023 Shoji Kawamori / Office Shogo Onodera, All rights reserved

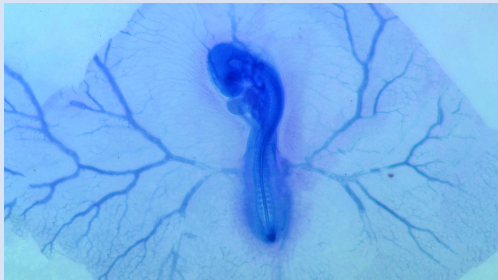
© 2022 Shoji Kawamori / Office Shogo Onodera, All rights reserved.



© 2023 Shoji Kawamori / Office Shogo Onodera, All rights reserved

© 2022 Shoji Kawamori / Office Shogo Onodera, All rights reserved.

リアル展示エリア



巨大ビジョン展示

人間の感覚では捉えられない時間や空間スケールの映像を、巨大な高精細スクリーンで眺める。圧倒的な映像体験によって、いのちを直観する。



火星衛星探査計画MMX特集展示
(MMX: Martian Moons eXploration)

MMX探査機から送られてくる今の火星や衛星フォボスの高精細画像を巨大なスクリーンに表示し、MMX探査機のいのちを探す旅を共有体験する。

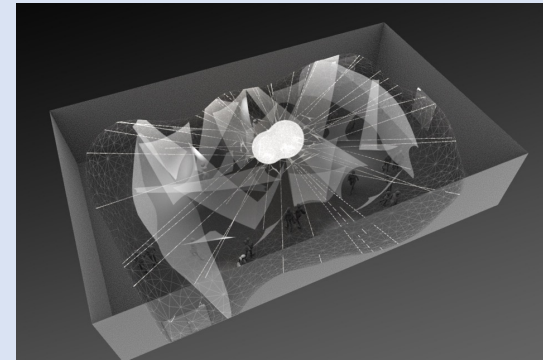


草花の分解過程の展示

生物が死に、分解されていくなかで、微生物や菌類などの他の生命が成長していく様子を実物とタイムラプス映像で体験する。

Real

イマーシブ体験エリア



多層プロジェクション展示

様々ないのちのつながりや、スケールを超えたフラクタルな相似性を、透過スクリーンが幾重にも張り巡らされた有機的な空間の中で、立体的、象徴的、体感的に体験する。



XRシアター

水や大気の流れ、食物連鎖、生命の連鎖や相似。すべてのいのちはつながり合っているという実感をも、MR/VRを駆使して表現する。人間中心からいのち中心へ。今、ここに共に生きている奇跡を感じる。

Immersive

展示コンテンツは計画中の段階であり、今後変更となる場合がございます。

ピックアップ | 宇宙コーナー

《リアル展示エリア》

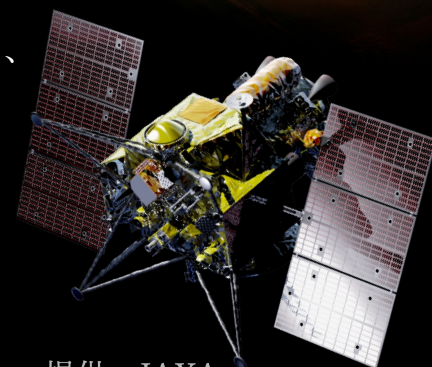
いのちの旅ー火星、フォボス

地球にいのちが生まれた秘密を解明するために、はるか遠く火星の衛星フォボスに向かうMMX探査機が、会期中ちょうど火星に到達する予定。

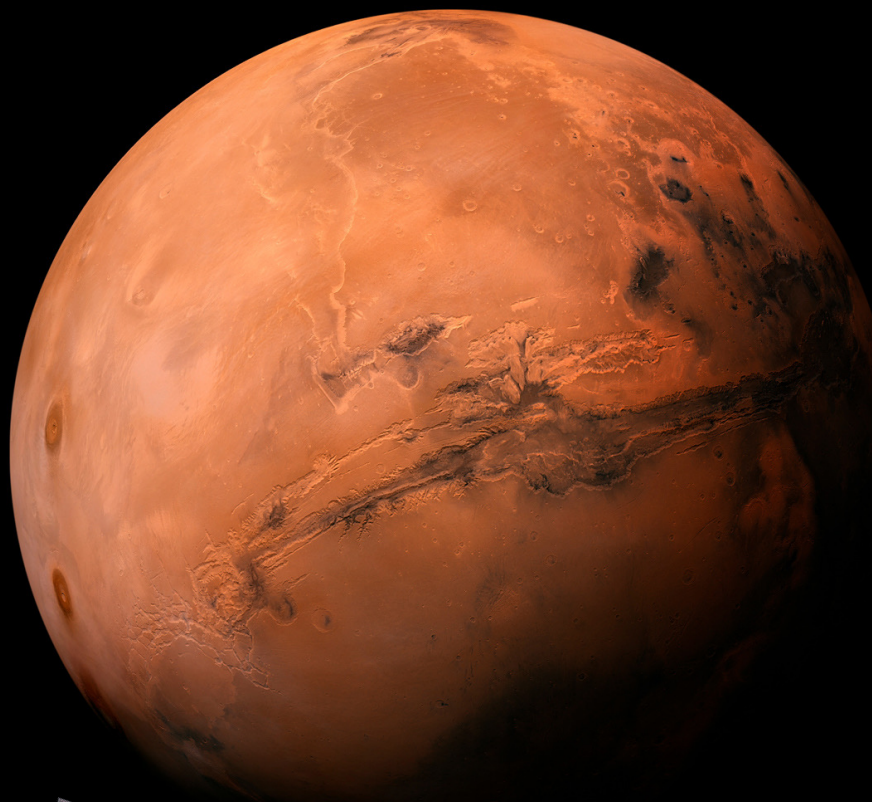
探査機から送られてくるリアルな火星の高精細画像を巨大なスクリーンに表示し、MMX探査機が今見ている世界を体験する。

また、火星付近から見える小さな地球を映したい。

この宇宙の中で、我々の住む星がどれほど小さく、そこで共に生きるいのちが、どれほど奇跡の存在なのか、感じてもらいたい。



提供：JAXA



展示プラン

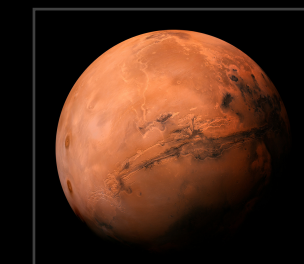
4.8mの壁面に、各種コンテンツを投影する。ナレーションを交えて、プロジェクトの背景や、MMXの現在地を体験できるコンテンツを展開していく。



提供：JAXA

なぜ火星衛星に向かうのか

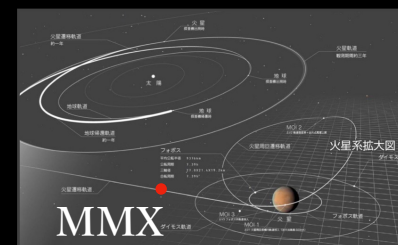
- フォボスを調べる理由を解説するムービー
- タッチダウンの具体的な手順を解説するムービー



提供：JAXA

MMXが見ている世界

- 最新中継画像に至るまでのタイムラプス映像の抜粋やシミュレーション映像
- ※プログラムで現在の状況を再現



提供：JAXA

MMXがいる場所

- 旅全体の行程と現在地を示すビジュアル表現
- ※プログラムで現在の位置などを再現

ピックアップ | XRシアター

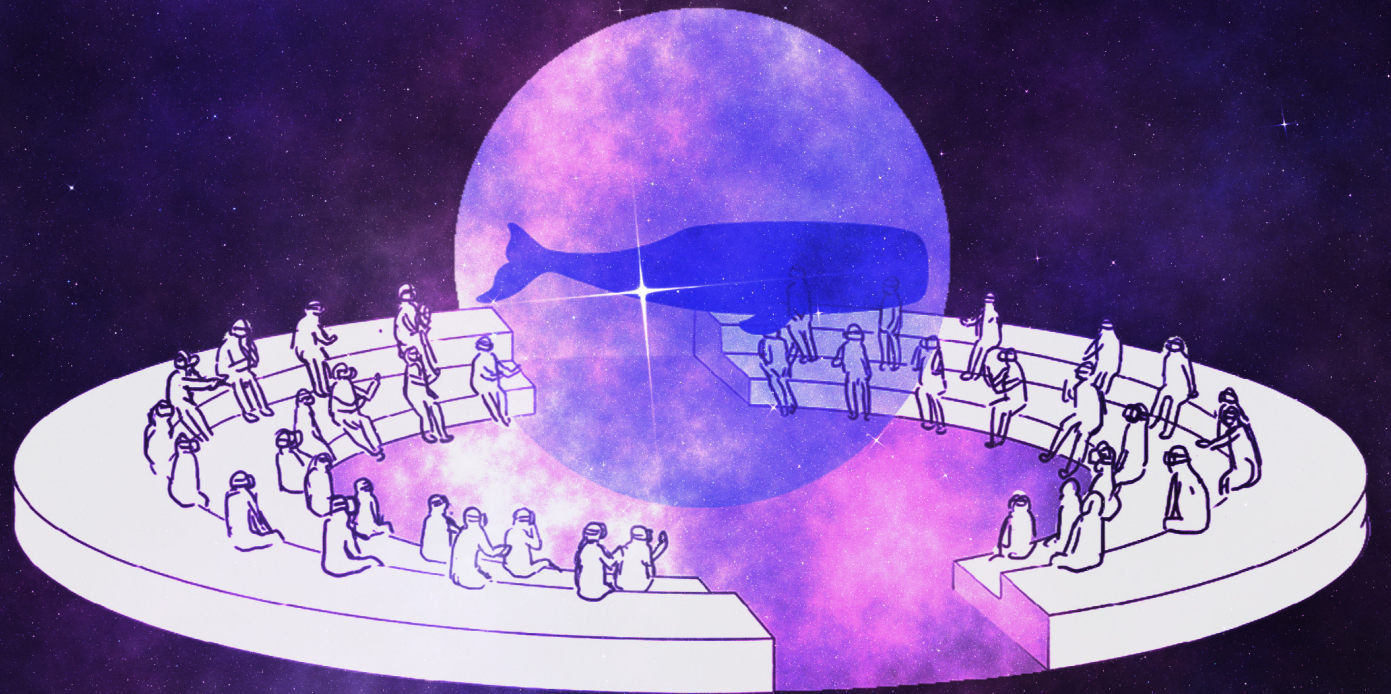
《イマーシブ体験エリア》

LIVE EARTH JOURNEY

水や大気の循環、食物連鎖、
生命の連鎖や相似を、MR/VRを駆使して表現。
すべてのいのちはつながり
合っているという実感を通じて、
人間中心からいのち中心へ。
生態系の課題は他人事ではなく自分事である。
という意識変容を促しつつ、今、
ここに共に生きている奇跡を伝えたい。



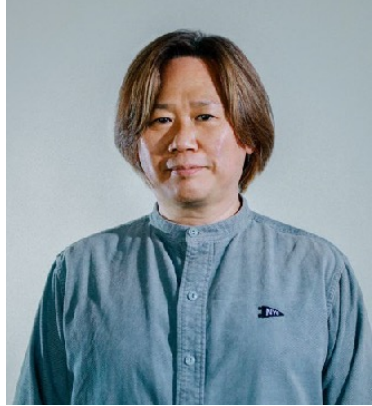
※XRシアターは年齢制限を設ける（予定）



展示プラン

体験者は車座に座り、外部が見えるカメラがついたヘッドマウントディスプレイを装着する。シアターの中心に現れたクジラを全員で眺めるなどの、同じ現象を体験するMRと、体験者たちが個々人でいのちのダイナミズムを体験するVRを織り交ぜ、ここでしか体験できない、いのちめぐる冒険の物語を提示していく。

スタッフページ | CREATOR TEAM



クリエイティブディレクション・体験デザイン
株式会社バスキュール

朴 正義



馬場 鑑平

WORKS



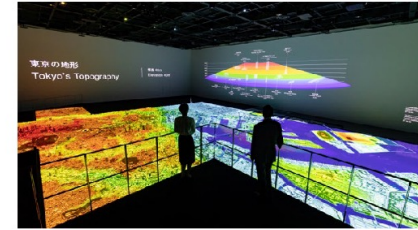
KIBO宇宙放送局



ドバイ万博 日本館
(音声ARシステム)



This is 嵐 LIVE
2020.12.31



森ビルアーバンラボ



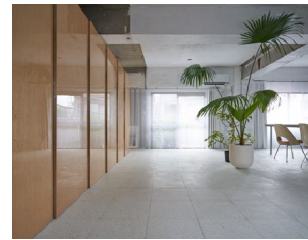
建築デザイン・展示計画
株式会社小野寺匠吾建築設計事務所

小野寺 匠吾

WORKS



秋谷の住宅



光と風が通る家



中庭のあるオフィス



PATOU



蔵宗の住宅

今、ここに共に生きる奇跡

A miracle living now and here together

はかなくて、尊くて、力強くて、愛おしくて、
美しいいのちの輝きと、
宇宙・海洋・大地に宿るあらゆるいのちのつながりを表現。

人間中心からいのち中心へのパラダイムシフトと、
いのちを守り育てることの大切さを訴求することを目指す。

プロデューサー 河森正治

